



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は、「産業情報支援センターが新事業創出大賞を受賞」などについてお知らせします。

## 地域活性化をめざす積極的な活動が評価され、SICSが「新事業創出大賞」を受賞

堀場製作所最高顧問の堀場雅夫氏が会長を務める日本新事業支援機関協議会(通称「JANBO」)が主催する「JANBO Awards」で、西条市産業情報支援センターが、**起業醸成部門賞を受賞**するとともに、各部門賞受賞者のうち最も顕著な成果を上げた事業・機関に対して贈られる**新事業創出大賞を受賞**しました。

JANBOは、平成11年の「新事業創出促進法」の施行に伴い発足した団体で、新事業の創出を目的として設置された全国の都道府県や政令市の産業支援機関などを会員とする全国組織です。JANBOでは、会員が行う新規事業創出活動の成果を広くPRすることを目的に「JANBO Awards」を実施しており、今回で5年目になります。

今回の受賞は、創業者や経営者のみならず、すべての人が社会人・職業人として資質や能力を発揮できるよう、西条市と企業が連携し、起業家マインド醸成事業(起業教育・キャリア教育事業)に取り組む、中でも小学生、中学生、大学生それぞれに向けて、自己実現に重点を置いた「起業教育・キャリア教育」、地域モノ作り産業の持続的発展に重点を置いた「地域産業人材育成」を実施し、起業風土を生み出す取り組みを積極的に推進してきたことや、学校や教育委員会とも連携し、市の教育基本方針重点目標にも当センターの各種事業が位置づけられている点、また、女性起業家スクールや経営者塾など起業・経営革新に直結する事業も実施しているほか、支援企業の営業面における能力強化という観点から広い情報網を駆使し、積極的な販売支援・営業支援を実施するなど起業家育成の取り組みも行っている点などが特に評価され、「起業醸成部門賞」を受賞しました。

また、事業創出を中心とした「内発型」の産業政策の展開を図る中核施設として1999年に設置された当センターは「地域活力の源泉は産業にあり、産業を支える基盤は人材にあり」という理念のもと、地域活性化の原動力となる人を育てることに重点を置き、様々な人材育成プログラムを実施してきました。

今回の大賞受賞は起業家の裾野拡大や起業家育成への取り組み内容に加え、地域の独自性や他地域へのモデルとなりうることで、都市の規模に比べてその取り組みのレベルが高いこと、今後大きな成果が期待できることなどが評価されたものです。

表彰式は6月12日(木)に東京にて開催されます。



▲ 受賞の要因となった起業家マインド醸成事業



▲ 鋳造製品について説明を聞く小学生

## サイクスからの事業報告 ものづくり科学創造クラブが鋳造工場を訪問

市内の小学5年生30名で構成するものづくり科学創造クラブが、3月26日に株式会社クリタを訪問し、鉄を溶かして機械の部品などに仕上げる鋳造の工程を見学しました。

参加した子どもたちからは「溶けた鉄の色は、溶けた鉄の温度で決まると知ってすごいと思いました」などの感想が聞かれました。

ものづくり科学創造クラブは現在4期生が活動しており、8月までに残り3回の活動を実施する予定です。